

議会だより とのじょう



元いじわらじわら
土庄町



どきどき、わくわく今日から1年生！～北浦小学校最後の入学式～

- | | |
|-------------------|-------|
| 新年度予算決まる | 2 - 3 |
| 子ども医療費の無料化を拡大 | 4 |
| 予算を審議 | 5 |
| 町長の施政方針を問う | 6 |
| 委員会の活動報告 | 7 - 9 |
| 町長給与を1年間50%減額 | 9 |
| 一般質問(7人の議員が町政を問う) | 10-13 |

～前年度より 11.6%増～

一般会計予算85億1300万円が成立

3月定例会

3月定例会が3月7日から25日まで開かれ、初日に町長の平成26年度施政方針の説明の後、平成25年度補正予算8件、平成26年度当初予算12件、条例18件、その他3件の議案が提出されました。また、追加議案として人事案件2件と、議員提案の条例1件が提出され、委員会付託による審議を経て、すべて原案どおり可決しました。

平成26年度に実施する主な事業

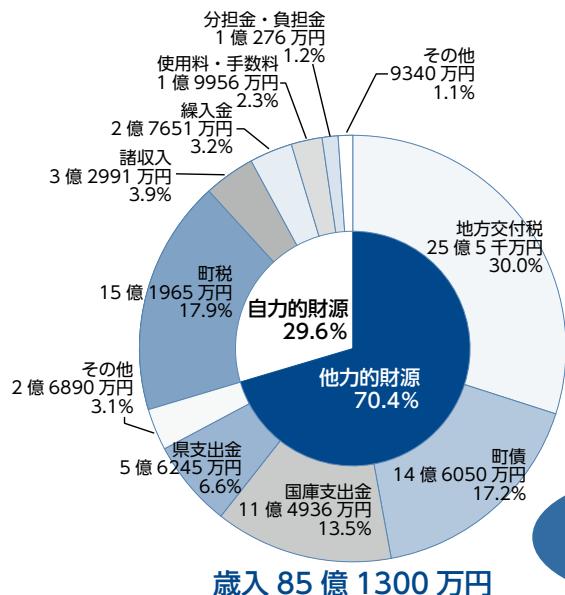


賛成	上川議員	反対	福本議員
新病院建設は町民の 望みであり、進めるべき なので賛成する。		新病院建設に反対す る立場から、公立病院 再編整備や、土庄中央 病院跡地利用のための 予算に反対する。	新病院建設に反対す る立場から、公立病院 再編整備や、土庄中央 病院跡地利用のための 予算に反対する。

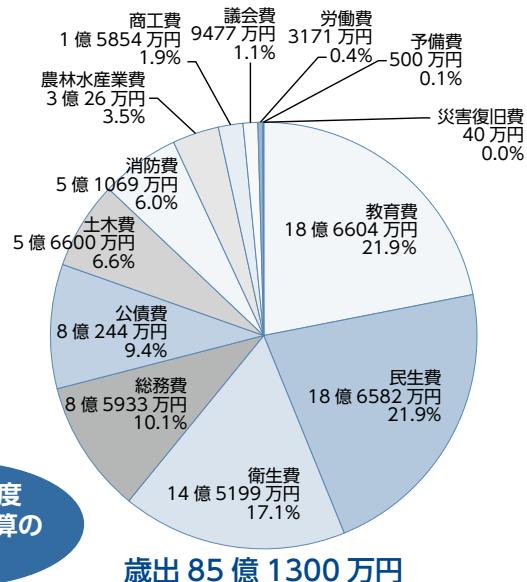
新年度予算

新小学校、新統合病院、消防庁舎など

大型投資事業が本格化



平成26年度一般会計予算の内訳



歳出 85 億 1300 万円

平成26年度各会計予算

会計名	26年度予算額	対前年度比	議決結果(賛成:反対)
一般会計	85億1300万円	11.6%	可決(10:2)
特別会計	簡易水道	2362万円	1.3% 可決(12:0)
	国民健康保険	21億2960万円	1.7% 可決(11:1)
	港湾整備	1億870万円	△13.5% 可決(12:0)
	宅地造成	1億6970万円	77.7% 可決(12:0)
	大鐸財産区	951万円	△69.5% 可決(12:0)
	農業集落排水	2351万円	1.8% 可決(12:0)
	介護保険	15億9775万円	4.2% 可決(12:0)
	福祉サービス	1億2766万円	3.0% 可決(12:0)
	後期高齢者医療	2億2833万円	△1.9% 可決(11:1)
企業会計	水道事業	13億8024万円	29.0% 可決(12:0)
	病院事業	18億9405万円	△2.1% 可決(12:0)

平成25年度補正予算

会計名	補正額	補正後	主な内容	議決結果(賛成:反対)
一般会計	2億1053万円	79億7423万円	馬越港建設工事 新小学校建設工事 の前倒し実施	可決(11:1)
特別会計	国民健康保険	2982万円	21億3556万円 療養給付費の増加	可決(12:0)
	大鐸財産区	—	3122万円 翌年度への事業の継続	可決(12:0)
	介護保険	6317万円	16億5442万円 サービス利用実績の増加	可決(12:0)
	福祉サービス	—	1億2999万円 財源の更正	可決(12:0)
	後期高齢者医療	△200万円	2億3073万円 受診者減少による健康診査委託料の減額	可決(12:0)
	水道事業	△2億7355万円	7億9868万円 肥土山浄水場更新工事の減額	可決(12:0)
企業会計	病院事業	—	19億3505万円 財源の更正	可決(12:0)

※議案の採決は議長を除いて行います。

賛成 濱中議員	制度そのものが必要であると思うので賛成する。	反対 福本議員	制度自体に反対なので予算に反対する。	特別会計 後期高齢者医療事業	土庄町の国保医療費は県下でも低い。今後も引き続き努力していただきたいので賛成する。	賛成 山本議員	高すぎる国保税を納められないという声が上がっている。高すぎると国保税を前提とした予算に反対する。	反対 福本議員	高すぎる国保税を納められないという声がある。ただ反対する。	特別会計 国民健康保険事業	特別会計のための予算に対し反対する。	反対 福本議員	新病院建設、同和事業、マイナンバーシステムの導入、屎尿収集システムへの消防庁舎の建設のための予算に対し反対する。
---------	------------------------	---------	--------------------	----------------	---	---------	--	---------	-------------------------------	---------------	--------------------	---------	--



子育て支援

今年8月から医療費無料化を 中学卒業までに拡大

◇議会委員会条例の改正	役場組織の変更 人権対策課を住民環境課に、債権管理室を出納室にそれぞれ再編する
◇重度心身障害者医療費の自己負担を廃止	公立病院の再編に伴い看護学生、理学療法士、作業療法士修学資金貸付対象に、新病院での勤務を希望する者を加える
◇教育委員の任命に同意	監査委員の任期満了に伴い、新たに監査委員の任命に同意
（75歳・渕崎）	大峯茂樹 氏 (65歳・大木戸) 岡見珠美 氏
	人事案件

主な条例の一部改正

主な条例の制定

◇教育長の給与を減額
月額52万3千円から52万1千円に減額

◇子ども医療費の無料化を拡大
今年8月から、中学卒業までの子どもの外来医療費も無料化

◇町有施設の使用料等を変更
消費税増税に伴い、公用料、水道使用料などを変更

◇看護学生等への修学資金貸付対象の変更
公立病院の再編に伴い看護学生、理学療法士、作業療法士修学資金貸付対象に、新病院での勤務を希望する者を加える

◇看護学生等への修学資金貸付対象の変更
公立病院の再編に伴い看護学生、理学療法士、作業療法士修学資金貸付対象に、新病院での勤務を希望する者を加える

消費税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

この付金は安倍政権のばらまき政策であり、適切だと判断する。

この付金は安倍政権のばらまき政策であり、迎合するべきではない。

区分	議案の内容	議決結果(賛成:反対)
条例の一部改正	土庄町行政組織条例	可決(12:0)
	土庄町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例	可決(12:0)
	土庄町教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例	可決(12:0)
	土庄町財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例	可決(12:0)
	土庄町集会所の設置及び管理に関する条例	可決(12:0)
	土庄町社会教育委員に関する条例	可決(12:0)
	土庄町重度心身障害者等医療費支給に関する条例	可決(12:0)
	土庄町看護学生修学資金貸付条例	可決(12:0)
	土庄町理学療法士及び作業療法士修学資金貸付条例	可決(12:0)
	土庄町小江自治会館の設置及び管理に関する条例	可決(12:0)
条例の制定	土庄町準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例	可決(12:0)
	消費税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可決(11:1)
	土庄町太陽光発電等設備管理基金の設置、管理及び処分に関する条例	可決(12:0)
	土庄町地域の元気臨時交付金基金の設置、管理及び処分に関する条例	可決(11:1)
	土庄町池西正輝教育振興基金の設置、管理及び処分に関する条例	可決(12:0)
	土庄町子どもに対する医療費助成条例	可決(12:0)
	土庄町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例	可決(12:0)
その他	土庄町小規模ため池防災対策特別事業分担金徴収条例	可決(12:0)
	土庄町辺地に係る総合整備計画の変更について	可決(12:0)
	土庄町道路線の廃止について	可決(12:0)
案件人事	土庄町道路線の認定について	可決(12:0)
	土庄町監査委員の任命について	可決(12:0)
	土庄町教育委員会委員の任命について	可決(12:0)

反対 福本議員

賛成 川口議員

反対 福本議員

この付金は安倍政権のばらまき政策であり、迎合するべきではない。

条例議案に対する討論

のであれば、公共サービスに対する消費税増税の金の設置、管理及び処分に関する条例

地域の元気臨時交付金の設置、管理及び処分に関する条例

委員会で予算・条例等を審議

総務建設常任委員会での主な質疑

総務課

《委員》公共施設の使用料等に、消費税増税分を上乗せしなくてもよいのではないか。

《答》町の公共施設等の維持管理費についても、消費税増税分増加する。また、国からも引き上げに対応するよう通知が来ている。

農林水産課
《委員》町道の補修は町が行つてくれるが、農道は原材料支給のみである。地域全体で道を守る仕組みを考えてはどうか。

《答》町道は不特定多数の人が利用し、公共性が高いが、農道の利用者は限られているので、原材料を支給して、補修してもらっている。



企画課

《委員》小豆島オリーブバス株へ職員を一人派遣することになつていてが、ずっと支援していくのか。

《答》出資金の増資、職員の派遣により経営ガバナンスを強化する。将来的には公設民営による運営も考えられる。

商工観光課

《委員》商工業振興団体助成金が210万円増えているのはなぜか。

《答》商工会はイベントも多く、助成額の要望もあり、増額している。

教育民生常任委員会での主な質疑

福祉課

《委員》今後、介護保険料は上がるのか。

《答》最近新たに町内にデイサービス等の介護事業所が開設しているので、保険料を上げることになるとと思う。次期介護保険計画にどれだけ新規事業所の開設等を見込むかによつて上げ幅は変わる。

健康増進課

《委員》訪問介護サービスの利用は減つてているのか。

《答》25年度は気候の影響等もあり、若干利用が減少したと考えられる。



土庄中央病院

《委員》25年度の赤字はどれくらいになる見通しか。

《答》赤字は約3億7千円の見込み。4月から看護師不足のため、病床を34床休床し、看護単位も変更する。診療体制の変更としては、小児科は入院や特別な治療を要するものは他院に搬送しなければならなくなる。

議会だよりとのしょう

1 住んでよく、訪れて よかったですと思えるまちづくり

- 現代アートによる町おこしプロジェクト「小豆島とのじょうアート化計画」の推進
- 青年就農給付金制度を活用し、新規就農者への支援を継続
- 有害鳥獣被害防止対策を強化

2 誰もが安全で安心して 暮らせるまちづくり

- 消防庁舎の建替え、消防救急デジタル無線整備など消防・救急体制を強化
- 町内全地区の土砂災害ハザードマップ、地震・津波ハザードマップを順次作成、配布
- 町内4施設に太陽光発電と蓄電池設備を整備し、防災拠点としての機能を強化



3 子育てしやすく、 賑わいのあるまちづくり

- 中学校卒業までの子どもの医療費を無料化
- エンゼル祝金・すこやか手当、病気の子どもの一時預かりサービスなどの子育て支援を継続
- 子ども・子育て会議を設置し、子育てに関するニーズ調査を行い、子ども・子育て支援計画を策定

4 住み慣れた地域で 豊かに暮らせるまちづくり

- 医師確保に努め、新病院建設を推進
- 住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築
- 重度心身障害者医療費の自己負担を廃止
- 民間住宅の耐震診断と耐震改修工事に対する補助を継続

5 協働と連携により、 自立するまちづくり

- 旧村単位での地域特性を生かしたコミュニティ活動を支援し、住民参加型の地域活性化を図る
- 自治組織の活動や集会施設等の設備充実を支援し、活動の活性化を促進
- 厳しい行財政環境をふまえ、さらなる行財政改革に取り組む

施政方針に対する質問

上川議員

就農希望移住者の支援を

青年就農給付金制度とは。

施政方針に数値目標を

平成26年度施政方針大綱に、数値目標はほとんどないが、例えば将来的に観光客数や新規就農者をいくらにするというよう具体的な目標を。

山崎議員

施政方針に数値目標を

平成26年度施政方針大綱に、数値目標はほとんどないが、例えは将来的に観光客数や新規就農者をいくらにするというよう具体的な目標を。

濱中議員

教育行政をしつかりと

『問』今後、土庄町の教育をどのように進めていくのか。

『町長』教育長を中心、教育環境の充実、学力の向上に努めたい。

『町長』役場庁舎は耐震化できていないので、他の施設に整備する。今のうちに役場庁舎に替わる防災拠点対策を行ってほしい。

『町長』防災拠点の整備をやすらぎプラザ、総合会館、新小学校、旧高松労務局土庄出張所に太陽光発電と蓄電池設備を整備し、防災拠点としての機能強化を図るとあるが、役場庁舎が防災拠点となるべきでは。

『農林水産課長』就農希望の移住者であつても、給付金を受けるには、そこの地域の地域農業マスターープランの中で、農業を担う中心的人物と位置づけられる必要がある。移住してすぐ給付金を受けるのは難しいかも知れないが、計画があれば受けすることはできる。

『町長』土庄中央病院跡地利用として、地域包括ケアシステムの拠点整備も考えられる。4月から順次取り組んでいく。

『町長』就農意欲の喚起と就農後の定着を図るために、1人最大150万円を給付する。対象者は45歳未満で、地域農業マスターープランの中で、今後農業を担う中心的存在と位置づけられた人。これまで3件給付している。

『町長』いろいろな条件や捉え方によって変わるの具体的な数字を入れていながら、前年より上回ることを目指している。

『町長』いろいろな条件や捉え方によって変わるの具体的な数字は入れていながら、前年より上回ることを目指している。

教育民生常任委員会
(12月19日・2月5日)

土庄中央病院・福祉課 健 康 增 進 課

土庄中央病院存続のため、島の医療の在り方を考える体制づくりを病院から、統合後の新病院において地域医療人材育成センターの設置を含めた「小豆島医療福祉計画」の方向性について提案があった。

《委員会の意見》

「小豆島医療福祉計画」の実現に向けて、プロジェクトチームや専門の部署をつくり、職員の配置もすべき。地域医療人材育成センター構想についても予算をつけるなどして具体的に進めていただきたい。



子どもたちにおいしい給食を

給食費を値上げ
消費税増税に伴い、給食費を7→8円値上げする。

新小学校工事現場を視察
工事の進捗状況の説明を受け、工事が順調に進行していることを確認。

て協議し、県もなるべく早く採石認可をする方向とのことであった。認可に必要な森林法、採石法等にかかる町の意見書の提出も迅速に行つ。

教 育 総 務 課

新小学校工事現場を視察
工事の進捗状況の説明を受け、工事が順調に進行していることを確認。

教 育 総 務 課

新小学校工事現場を視察
工事の進捗状況の説明を受け、工事が順調に進行していることを確認。

員の配置基準などを条例で定める。

員の配置基準などを条例で定める。

が必要。行政・議会・住民が一体となって継続的に取り組まなければならぬ。

観光振興特別委員会 (2月17日)

芸術祭以外の期間もアートを活用して誘客を

地域の祭や行事と連動して、ワーキングヨットや音楽など魅力あるイベントを開催し、芸術祭期間中である。

瀬戸内ごども映画フェスティバル

5月にかけて公開される。

これをきっかけに、更なる誘客を図り、地域活性化につなげる。

土庄中央病院

島の医療を守るために、内・島内の連携を

○診療体系等の変更
常勤医師の退職により、4月以降小児科の入院・救急対応が難しくなる。

入院は、一般病床を一部休床し、療養病床に患者を回すが、全体としては減少となる。

今後、内海病院も内科医の退職予定があり、また、島内に常勤外科医が不在となるおそれもある。

《委員》庁内協議体制のイメージは。

○答)議会・町執行部・病院・福祉関係者等が集まって、島全体のことを考えた上で、町としての医療・福祉の方向性を考える体制。

《議長》病院問題については、議会も過去の反省をふまえ、積極的に関与していくが、町長・執行部で率先してやってもらいたい。

《町長》議会・病院・行政の三者が一体とならないといけないが、まずは病院と行政の意思疎通を

もっと図っていく。府内の体制整備も早急に行つ。

これをきっかけに、更なる誘客を図り、地域活性化につなげる。

芸術祭以外の期間もアートを活用して誘客を

地域の祭や行事と連動して、ワーキングヨットや音楽など魅力あるイベントを開催し、芸術祭期間中である。

瀬戸内ごども映画フェスティバル

5月にかけて公開される。

これをきっかけに、更なる誘客を図り、地域活性化につなげる。



うみのうつわ

金を活用し、島の活性化につながるイベントを数回開催する予定。

《委員》小豆島童謡音楽祭と瀬戸内ごども映画フェスティバルを運動させるなどして、予算を有効に使って、誘客してほしい。

《答》横の連携が必要なので、前向きに検討する。

《委員》小豆島のイベントが一日で分かるような宣伝の工夫が必要では。

小豆島ロケの映画が続々と公開

《答》情報発信は課題である。観光協会のホームページも充実させる。

一般廃棄物処理施設の整備状況
1月中頃に採石業者2社が県へ採石認可申請の書類を提出した。県と今後のスケジュールについて

地域包括支援センターの設置基準を条例で規定
権限移譲により、国が定めていた地域包括支援センターの設置基準(職

域包括支援センターの設置基準を条例で規定
権限移譲により、国が定めていた地域包括支援センターの設置基準(職

域包括支援センターの設置基準を条例で規定
権限移譲により、国が定めていた地域包括支援センターの設置基準(職

域包括支援センターの設置基準を条例で規定
権限移譲により、国が定めていた地域包括支援センターの設置基準(職

域包括支援センターの設置基準を条例で規定
権限移譲により、国が定めていた地域包括支援センターの設置基準(職

水道事業特別委員会 (2月28日)

肥土山浄水場導水施設更新工事の進捗状況の説明を受けた後、4施設の工事について変更するかどうかを協議した。



工事が進む肥土山浄水場

①機械脱水機の導入
昨年3月に機械脱水機を導入し、汚泥処理をしているが、汚泥濃度が薄くなり、完全処理ができるない。この解消のため、同等の機械脱水機をもう1基導入するか。

②汚泥搔き機のタイプ変更
汚泥搔き機は、4つのタイプがあり、現在はロープ牽引式で設計しているが、施工方法、維持経費等を総合的に考え、モノレール式に変更したい。

③配水池の屋根構造
コンクリートスラブ、アルミ製、ステンレス製で構成、耐食性、経済性を比較した結果、アルミニ製にしたい。

④自家発電設備の導入
管理棟の工事施工とともに、管理棟内に自家発電設備を導入したい。

1月臨時会

町長・副町長の給与を減額 町長は1年間給与の50%を自主減額

平成25年度補正予算(全員賛成)

会計名	補正額	補正後予算額	主な内容
一般会計	4291万4千円	77億6370万円	○パソコン、プリンタの購入、設定、撤去費 ○台風18号被害によるため池・水路の復旧
特別会計	国民健康保険事業	23万9千円	21億573万円
	介護保険事業	59万8千円	15億9125万円
	福祉サービス事業	72万5千円	1億2999万円

三枝町長が就任して初めての臨時会が1月30日に開かれました。町長の所信表明の後、人事案件2件が提案され、いずれも原案どおり可決しました。

◆副町長の選任に同意
藤本義則 氏
(59歳・豊島家浦)
(66歳・馬越)

◆教育委員の任命に同意
山田議員
町長の個人的な問題から、条例を改正するのは反対。町長就任後に、問題があつたなどで町長としての責任を取るために給与を減額するのであれば理解できるが、町長就任以前の問題のために給与を減額するということは理由にならない。

◆条例議案に対する討論
福本議員
町税の滞納を欠損処理されるまで放置していた問題は、給与を50%減額して済む問題ではない。町長がすべきことは、問題の経緯を住民に明らかにすることである。責任を感じているのであれば、すみやかに辞職し、町にに対する信頼を取り戻すこととなる。

◆人事案件
(全員賛成)

町長 76万5千円 → 76万3千円
※平成26年4月から1年間は38万1500円

副町長 57万3千円 → 57万1千円

条例の一部改正 (賛成10・反対2)

（賛成10・反対2）

◆町長・副町長の給与支給条例の一部改正
賛成 泊議員
特別職報酬審議会で町長が給与の自主減額をした
いと報告し、委員も了解しているし、本人が自
的に行うのであれば賛成する。

◆賛成 清中議員
町長がこの問題に対し、道義的責任を感じ、給与を削減するのであれば賛成する。

議員が町政を問う

3月定例会では、7人の議員が一般質問を行いました。

全文記録（会議録）は、土庄町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

土庄町ホームページ
<http://www.tonosho.kagawa.jp/>



質問議員	質問事項
上川正衛	<ul style="list-style-type: none"> ○今後の公共事業の落札見込みは ○瀬戸内国際芸術祭 2013 の運営方法について
濱中幸三	<ul style="list-style-type: none"> ○新設高校への通学、土庄高校跡地利用について ○観光を中心に町の振興を ○医療福祉計画の策定作業は進んでいるか
泊満夫	<ul style="list-style-type: none"> ○移住促進事業交付金の助成拡大を ○まちづくりのためのプロジェクトチームや検討会の立ち上げを ○情報公開条例の改正を
佐々木邦久	<ul style="list-style-type: none"> ○具体的な農地の荒廃地対策を ○農道補修を一般道並みに格上げを
藤本誠助	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家問題について ○土庄中央病院の跡地利用と地域医療人材育成センターについて
福本耕太	<ul style="list-style-type: none"> ○地域医療を守るビジョンについて ○障害者福祉金制度の創設を ○高すぎる国保税の引き下げを
山田建之	○滞納町税の徴収と時効による欠損処理について



上川正衛 議員

格とかい離のおそれがある場合は、業者やメーカーから見積りを取り、変動する経済環境や価格動向等を総合的に考慮して、適切な価格設定に努める。

公共事業の入札不調をどう回避するか

上川 国や地方自治体の公共事業で受注業者が決

まらない入札不調が相次いでいる。小豆医療組合でも、3月14日に新病院建設工事の入札が行われたが、予定価格を上回っていたため、落札に至らなかつた。今後数年間、町では大型公共施設の建設事業が集中している。

企画課長 入札不調の主な原因是、職人等の不足と、急激な人件費や資材価格の高騰により、実勢価格と設計価格がかい離していることである。

直近の単価を適用した設計価格にすることを徹底するとともに、実勢価

企画課長 応札者の見積りを活用し、実勢価格を予定価格に反映するよう努め、資材費や労務費の変動に備え、柔軟な対応を図る必要がある。

瀬戸内国際芸術祭 2013 の運営方法は

上川 過去2回開催された瀬戸内国際芸術祭では、多くの人が小豆島を訪れた大きな成果があった。過去2回を比べると、2013年は、小豆島内の作品展示場所に偏りがあるように思われる。

香川県 知事は、2016年に芸術祭を開催する意向を表明したが、町も次回の開催に向け、今からでも準

備し、小豆島全体がまるでみると、2013年は、豊島を含む土庄町には23作品、小豆島町には22作品あり、ほぼ同数。会場の決定や運営方法については、北川フラン

総合ディレクターの意向が大きく影響し、県知事は北川氏への権限集中に批判が出たこと等を受け、今後は県がより主体的に関与できるように体制を見直すとしている。

次回開催に向け、関係市町の主体性が發揮できるような組織体制・運営方法になるよう実行委員会とともに取り組んでいく。



多くの人でぎわった芸術祭

新設高校への通学路の整備や土庄高校の跡地利用をどうする



濱中幸三 議員

濱中 県は新設高校を東蒲生に建設する計画を進めている。県は土庄町民に、東蒲生に建設する理由や、遠距離通学となることに対し、丁寧に説明するとともに、通学路を整備して通学時の安全を確保するべきである。また、町は土庄高校跡地をどのように活用するのか。

企画課長 学校の再編については、保護者や住民に丁寧に説明し、その必要性について共通の理解を深めることが重要。

高校跡地については、県や小豆2町の関係者で構成する跡地活用方策検討会で協議されているが、町としても県に意見を伝えいく。

濱中 町の基幹産業である観光産業どのように振興していくのか。広域観光、農漁業の6次産業化を進めるべきでは。

新病院建設を中止し、土庄中央病院を軸に地域医療の再生を



福本耕太 議員

福本 新病院建設計画が提出されて今日まで、土庄中央病院、内海病院では、多くの医師が退職している。各病院の退職した医師数は。町長は医師の退職原因の分析も行っているが、このような状況で地域医療再生が実現できないのか。できない場合はどう責任を取るのか。

町長 土庄中央病院では、平成23年度から整形外科医3名、内科医2名、小児科医1名、外科医1名が退職。内海病院は報告できない。

医師不足への対応としては、今後も関係機関や大学と連携し、医師派遣を依頼するなどの対策を図る。

ちなみに、小豆島町では、障害の程度によって異なるが、年間6万6千円から3万9千6百円を給付している。

福祉課長 負担軽減策として医療費支給を行つてるので、給付金事業は

また、医師の労働環境の改善にも努め、住民への意識啓発も継続的に行なう。



まちの医療を支える土庄中央病院

福本 医療費の負担軽減は重要な政策だが、現金給付が必要。

国保税の引き下げを

福本 国民皆保険制度の中で、低所得者が加入できる最後の砦が国保である。

昨今の不景気、物価上昇、増税は、低所得者の暮らしを圧迫し、国保加入者から「国保税」が高すぎて納めたくとも、納めきれない」と悲鳴が上がり万田の引き下げを求める。

福本 県下で20歳以上の障害者への給付金制度がない自治体は、わが町を含め3市町である。多くの障害者が就労に困難を抱え、極めて少ない所得で厳しい生活を送っている。障害者の暮らしを守るために、給付金制度を早く創設すべき。

福本 他の自治体のように、一般会計から繰り入れて補てんすべき。

考えていない。

公正な税徴収が行われていなかつた責任は

山田 町長が経営している。欠損処理するにはきちんととした理由が必要であるが、経営不振を理由に欠損処理したことにより欠損処理してあるが、経営不振を理由に欠損処理したことにより欠損処理してある。

正當性はあるか。なぜ、時効までに差押さえをしなかったのか。公正な税徴収が行われなかつたことは、町に損害を与えたことになる。町民から損害賠償請求される可能性もある。今後、町はどうのような措置をするのか。

福本 欠損処理や差押えの明確な基準がないということは、町長や副町長が、便宜を圖つていたのではないか。また、過去に、町長と町長経営ホテルの共有名義の滞納固定資産税を、時効が到来する数日前に欠損処理してしまったものがある。債権の放棄は議会の議決が必要だが、なぜそのような処理をしたのか。

経営不振という理由付けについては、今後検討していく。時効の到来前に欠損処理は、事務処理上の誤りである。

山田 議会の議決を得ず放棄した債権の欠損処理は無効ではないか。町は町税の滞納者に催告書等を出しているので、テルの町税滞納も認識しているはずである。議会で、分からないと発言したのはなぜか。

山田 税務課長 債権放棄については、是正措置等がとられるかどうかを含め、県にも相談している。町長 税金については会社の経理と町とで話をしていたし、前町長から話も聞いていない。過去の経緯は分からぬ。



山田建之 議員

副町長 経営不振を理由に欠損処理を行つていたが、細かい理由や経緯は



公正な税の徴収を

視察研修報告 議会改革を学ぶ

日 時：平成 26 年 2 月 19 日
視察先：広島県神石高原町

を交互に行う)で行つて
います。

○議会報告会の実施

昨年 5 月に町内 4 地区で、直接住民に議会の活動を報告し、住民からの意見を聞く場を初めて設けました。各地区約 50 人の参加があり、今年 5 月にも開催を予定しているそうです。

視察研修を終えて

現在、土庄町議会の一 般質問は、複数の質問事項がある場合も、一度に全ての質問をして、それに対する答弁も、一度に複数の項目について行われるため、分かりにくいことがあります。今後、一問一答方式の導入も検討し、議会の改革・活性化を進めていきます。

神石高原町議会の取組み

神石高原町の人口は 約 1 万人で、議員定数は 14 人です。平成 23 年 12 月に議会改革推進特別委員会を設置し、平成 24 年 9 月に議会運営の基本ルールであり、最高規範となる議会基本条例を定めています。

○質疑は一問一答で

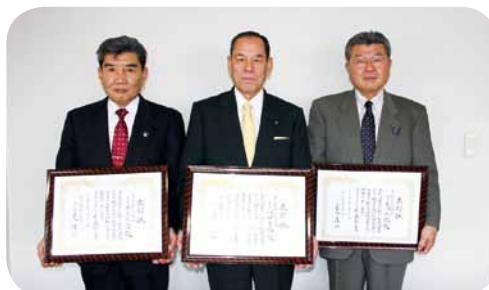
一般質問など議員と町長等との質疑応答は、論点を分かりやすくするための一問一答（質問と答え）を行つてます。



自治功労表彰

2 月 26 日開催の香川県

町村議会議長会第 65 回総会において、川口幸路議員、井上正清議員、上川正衛議員が、香川県町村議会議長会から自治功労者（町議会議員として 10 年以上在職し、功労のあつた者）として表彰されました。



2 月 28 日の委員会で、委員長に泊満夫委員、副委員長に山本良熙委員が互選されました。

議会の生の声を 聞いてみませんか？

次回定例会は

6 月中旬から

の予定です

詳しくは議会事務局へ

☎ 62-7011

議会日程は町ホームページでも
お知らせしています

議会日誌 (2/6 ~ 5/5)

2/10	全員協議会	3/7	3 月定例会本会議①
2/14	総務建設常任委員会	3/10	3 月定例会本会議②
2/17	病院再編調査特別委員会		議会運営委員会
	観光振興特別委員会	3/11	総務建設常任委員会(開会中)
2/19	議会運営委員会視察研修	3/12	教育民生常任委員会(開会中)
2/28	議会運営委員会	3/20	3 月定例会本会議③
	議会改革活性化特別委員会		議会運営委員会
	水道事業特別委員会	3/25	3 月定例会本会議④
3/3	全員協議会	4/7	小豆医療組合議会臨時会
3/6	佐法川防災溜池事業組合議会本会議	4/9	議会広報特別委員会
	土庄町小豆島町環境衛生組合議会本会議	4/17	総務建設常任委員会
	小豆地区広域行政事務組合議会本会議	4/30	教育民生常任委員会
	小豆医療組合議会本会議		

編集後記

暖かな日差しに淡緑の若葉が芽吹き、野花の香りが春の訪れを感じさせます。幼かつた子ども達の凜々しなった姿を見ると「時の経過は成長を伴う」と気付かされます。今年ついに「子ども医療費無料化」が中卒まで拡大されました。しかし、実現までの道のりは決して容易ではありませんでした。多くの署名を集められ、十数年の歳月がかかりました。苦惱と葛藤、挫折と努力を重ね、一步また一步…。成長する子ども達の姿と重なります。一方、「安心して暮らせる土庄町」の実現には、まだまだ課題が山積です。少子化の主たる原因、不安定雇用と低賃金、子育て世帯の所得低下に歯止めをかける必要があります。高齢化社会を支える年金、介護、地域医療の再生に、確かな羅針盤をもつた議会へと成長するための努力が必要です。